

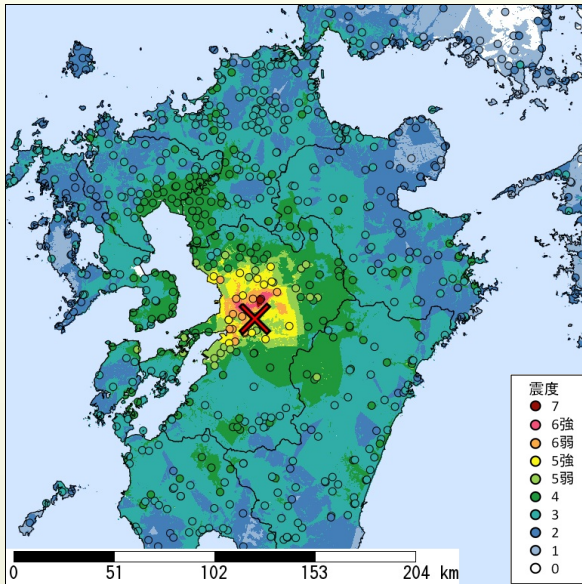
M 6.4, 震源地:熊本県熊本地方, 深さ約10km, 2016/04/14 21:26頃発生 (気象庁発表)

震度の分布

最大観測震度7(*)

主要都市の推定震度

(都市の最大観測震度と人口を考慮して掲載)

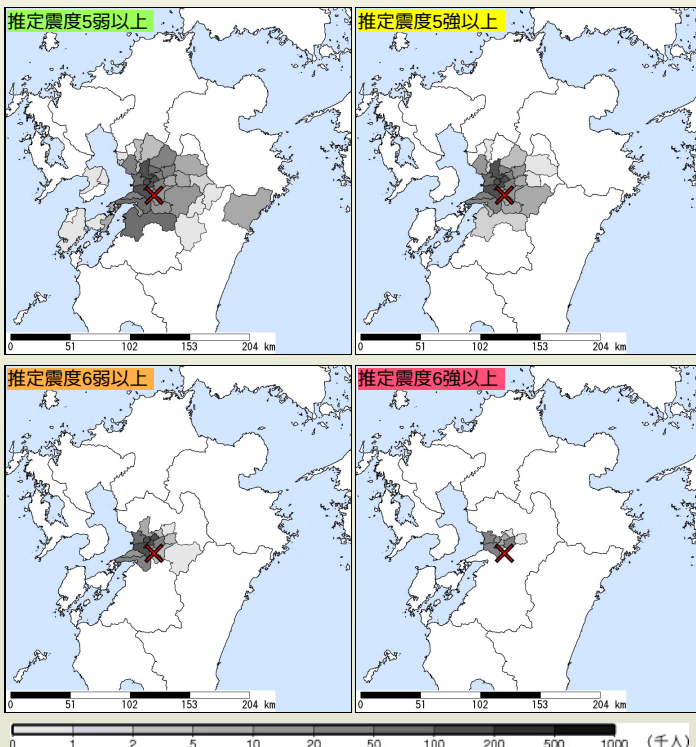


最大(*) 観測震度	推定震度頻度分布 1 2 3 4 5-5+ 6-6+ 7	市区町村名	全人口：夜間(人)	震央距離 (km)
7		熊本県上益城郡益城町	32,000	10
6弱		熊本県熊本市東区	190,000	9
6弱		熊本県熊本市西区	92,000	16
6弱		熊本県宇城市	62,000	12
6弱		熊本県熊本市南区	120,000	11
6弱		熊本県宇土市	38,000	13
6弱		熊本県玉名市	69,000	33
5強		熊本県熊本市中央区	180,000	14
5強		熊本県熊本市北区	140,000	24
5強		熊本県合志市	56,000	20
5弱		熊本県八代市	130,000	28
4		福岡県久留米市	300,000	74
4		佐賀県佐賀市	240,000	78
4		宮崎県宮崎市	400,000	105
4		福岡県福岡市博多区	210,000	105
4		山口県下関市	280,000	140
3		福岡県福岡市南区	250,000	101
3		鹿児島県鹿児島市	600,000	124
3		大分県大分市	470,000	96
3		福岡県福岡市早良区	210,000	106

最大観測震度は、各市区町村内で観測された最大震度。観測された計測震度を250mメッシュで補間し、市区町村ごとに推定震度頻度分布を作成した。報開始時刻が9:00-18:59のとき昼間人口、19:00-8:59のとき夜間人口を示し、平成22年国勢調査、平成21年経済センサス基礎調査等のリンクによる地域メッシュ統計を二桁精度になるよう四捨五入した。震央距離は震央から各市区町村中心部までの距離。

行政区ごとの震度遭遇人口

(各震度階級の揺れに遭遇した人口を考慮して掲載)



行政区名	震度5弱以上 遭遇人口	震度5強以上 遭遇人口	震度6弱以上 遭遇人口	震度6強以上 遭遇人口
全国	1,000,000	1,000,000	500,000	100,000
熊本県	1,000,000	1,000,000	500,000	100,000
熊本県熊本市中央区	200,000	200,000	200,000	10,000
熊本県熊本市東区	200,000	200,000	200,000	10,000
熊本県熊本市西区	100,000	100,000	50,000	20,000
熊本県熊本市南区	100,000	100,000	100,000	50,000
熊本県熊本市北区	200,000	100,000	5,000	
熊本県八代市	100,000	2,000		
熊本県玉名市	50,000	10,000		
熊本県菊池市	20,000	2,000		
熊本県宇土市	50,000	20,000	10,000	
熊本県宇城市	50,000	50,000	20,000	
熊本県合志市	50,000	20,000		
熊本県下益城郡美里町	10,000	10,000		
熊本県玉名郡玉東町	5,000	1,000		
熊本県菊池郡大津町	20,000	20,000	1,000未満	
熊本県菊池郡菊陽町	50,000	50,000	5,000	1,000未満
熊本県阿蘇郡西原村	5,000	5,000	5,000	1,000未満
熊本県上益城郡御船町	20,000	20,000	5,000	
熊本県上益城郡嘉島町	10,000	10,000	10,000	5,000
熊本県上益城郡益城町	20,000	20,000	20,000	20,000
熊本県上益城郡甲佐町	10,000	10,000	2,000	
熊本県上益城郡山都町	10,000	10,000	1,000未満	
熊本県八代郡氷川町	10,000	5,000		

全国および震度遭遇人口の多い都道府県と市区町村について掲載。震度遭遇人口が1~999人の場合には1000未満と表示。全国、都道府県の値は、市区町村の値の合計と必ずしも一致しない。

この地域で起こった過去の主な被害地震

発生日	地震名	M	被害
1848	熊本	不明	熊本城内で石垣を損じ、座敷などの壁が落ちた。
1889	熊本県西部	6.3	熊本市を中心に半径約20kmの範囲に被害があり、県全体で全壊239、死20。橋の落下や破壊が多かった。
1909	宮崎県西部	7.6	宮崎市付近で被害が大きく、宮崎・大分・鹿児島・高知・岡山・広島・熊本の名県に被害があった。家屋全壊4。大きなやや深発地震で、深さ約150km。従来、日向灘とされていたもの。
1914	鹿児島県中部(桜島地震)	7.1	桜島の噴火が発生した地震。鹿児島市で住家全倒39、死13、鹿児島郡で死22余。小津波があった。
1922	橘湾(島原(千々石湾)地震)	6.9	被害はおもに島原半島南部・天草・熊本市方面。長崎県で死26、住家全壊195、非住家全壊459。このうち2回目の地震による死3。
1939	日向灘	6.5	大分県沿岸で小被害、宮城県で死1。小津波があった。
1968	鹿児島県薩摩地方(えびの地震)	6.1	2時間ほど前にM5.7の前震、翌日にM5.6の余震があった。死3、傷42、住家全壊368、半壊636。山崩れが多かった。3月25日にもM5.7とM5.4の地震があり、住家全壊18、半壊147。
1975	熊本県阿蘇地方	6.1	阿蘇山外輪山内にある一の宮町三野地区に被害が集中した。熊本県で傷10、建物全壊16、半壊17、道路損壊12、山崩れ115。
1975	大分県西部	6.4	傷22、住家全壊58、半壊93、道路被害182など。
1997	鹿児島県薩摩地方	6.6	宮之城町・鶴岡町・川内市などで傷36、住家全壊4、半壊31。最大震度5弱や4の余震が続いた。
1997	鹿児島県薩摩地方	6.4	3月26日の地震と並行する断層による。川内市で震度6弱、傷43、住家全壊4、半壊25。

出典：国立天文台「理科年表Web版」、丸善（一部表現を割愛）

J-SHISから公表している地震ハザード情報

防災科研が公開するJ-SHISでは、ある地点に対し影響を及ぼす全ての地震を考慮し、その地点が大きな地震動に見舞われる危険度、すなわち地震ハザードを評価しています。(2013年版地震ハザード評価(モデル1))

50年間超過確率2%の計測震度分布

再現期間50000年相当の計測震度分布

